

## エホバに助けていただき、伝道をやり遂げる

「彼らは……自分たちの中に預言者がいたことを知ることになる」。[エゼキエル 2:5](#)

### [67 番の歌 「神の言葉を広めなさい」](#)

何を学ぶか\*<sup>エホバは、預言者エゼキエルが伝道の務めを最後までやり遂げられるように助けました。この点について考えると、エホバが私たちのことも助けてくださる、という確信が深まります。エホバはエゼキエルをどのように助けたのでしょうか。</sup>この記事では、3つの点を取り上げます。

1. 私たちはどんなことを予期していますか。それでも、どんなことを確信できますか。

私たちは伝道を行う時、反対されることを予期しています。これから先、こうした反対はますます増えていくことでしょう。（[ダニ 11:44](#) しかし、彼は東(\*日が昇る方)と北からの知らせに動搖し、激怒して出陣します。破壊し、多くの者を滅ぼし尽くすためです。[テモ二 3:12](#) 神への専心を貫き、キリスト・イエスに従って生きようとする人は皆、同じように迫害を受けます。[啓 16:21](#) さらに、重さ 20 キロほどの大きなひょうが天から人々の上に降り、人々はひょうの災厄のゆえに神を冒瀆した。その災厄が甚大な被害をもたらしたからである）でも、エホバは私たちに必要な助けを必ず与えてくださいます。なぜそう確信できるでしょうか。エホバはご自分に仕える人たちが務めを果たせるよう、これまでいつも助けてきたからです。どれほど難しい務めであっても果たせるようにしてきました。一例として、預言者エゼキエルのことを考えてみましょう。エゼキエルは、バビロンで捕囚にされていたユダヤ人たちに伝道しました。

2. エゼキエルが伝道した人たちのことをエホバは何と言いましたか。この記事ではどんなことを考えますか。（[エゼキエル 2:3-6](#)）

2 エゼキエルはどんな人たちに伝道したのでしょうか。エホバはそれらの人たちのことを「反抗的」、「心が固い」、「反逆的」と言いました。いばらのように厄介で、サソリのように危険な人たちだったのです。エホバがエゼキエルに対して、「恐れてはいけない」と何度も言ったのも当然のことでした。（[エゼキエル 2:3-6](#) その方はこう言った。「人の子よ、私はあなたをイスラエルの民のもとに、私に逆らう反逆的な国民のもとに遣わす。彼らとその父祖たちは、今日までずっと私に背いてきた。4 その反抗的で(\*厚かましく)心が固い民のもとに、私はあなたを遣わす。あなたは彼らに、『主権者である主エホバはこう言っている』と言わなければならない。5 彼らは、聞くとしても、反逆的な民であるために聞かないとしても、自分の中に預言者がいたことを知ることになる。6 人の子よ、彼らや彼らの言葉を恐れてはいけない。あなたはいばらに囲まれ(if\*人々は強情であなたを刺すとげのようであり)、サソリと共に住んでいるが、彼らの言葉を恐れてはならず、彼らの顔を見ておびえてもいけない。彼らは反逆的な民なのであるを読む。）それでもエゼキエルは、伝道をやり遂げることができました。それはエゼキエルが、（1）エホバから遣わされ、（2）聖なる力によって強められ、（3）神の言葉によって信仰を強められていたからです。これら 3つの

点は、エゼキエルにとってどのように助けとなつたのでしょうか。現代の私たちにとってはどうですか。

## エゼキエルはエホバから遣わされた

3. エゼキエルはどんな言葉を聞いて力づけられたに違いありませんか。エホバがエゼキエルを必ず助けると保証していたことは、どんなことから分かりますか。

3 エホバはエゼキエルに対して、「私はあなたを遣わす」と言いました。（エゼ 2:3, 4 その方はこう言った。「人の子よ、私はあなたをイスラエルの民のもとに、私に逆らう反逆的な国民のもとに遣わす。彼らとその父祖たちは、今までずっと私に背いてきた。4 その反抗的で(\*厚かましく)心が固い民のもとに、私はあなたを遣わす。あなたは彼らに、『主権者である主エホバはこう言っている』と言わなければならぬ）この言葉を聞いたエゼキエルは、力づけられたに違いありません。エゼキエルは、エホバがモーセやイザヤを預言者に任命した時に、同じような言葉を言ったことを思い出したかもしれません。（出 3:10。イザ 6:8）そして、エホバがモーセやイザヤを助けて問題を乗り越えられるようにしたことも知っています。ですから、エホバから「私はあなたを遣わす」と2回言われた時、エホバが必ず助けてくださると確信できたはずです。また、エゼキエル書には、「エホバが私に語り掛けてこう言った」という表現が繰り返し出ています。（エゼ 3:16 7日間の終わりに、エホバが私に語り掛けてこう言った）「エホバが再び私に語り掛けてこう言った」という表現も何度も登場します。（エゼ 6:1 エホバが再び私に語り掛けてこう言った）それでエゼキエルは、自分がエホバから遣わされているということを確信できたでしょう。さらに、エゼキエルの父親は祭司だったので、エホバがいつの時代にもご自分の預言者たちに必ず助けを与えると保証したことをエゼキエルに教えていたことでしょう。エホバは、イサク、ヤコブ、エレミヤに、「私はあなたと共にいる」と言いました。（創 26:24 その夜、エホバがイサクに現れて、こう言った。「私はあなたの父アブラハムの神である。恐れてはいけない。私はあなたと共にいるからだ。私に仕えたアブラハムのゆえに、あなたを祝福し、あなたの子孫を多くする」；28:15 私はあなたと共にいる。あなたがどこに行くとしてもあなたを守り、この地方に連れ戻す。私はあなたから離れず、あなたへの約束を必ず果たす。エレ 1:8 彼らの見た目的ために恐れてはいけない。『私があなたと共にいて、あなたを救う』と、エホバは宣言する）

4. エゼキエルはどんな言葉から慰められ、力づけられたに違いありませんか。

4 イスラエル人の多くは、エゼキエルの言葉にどう反応したでしょうか。エホバはこう言いました。「イスラエル国民はあなたの言うことに耳を傾けない。私の言うことに耳を傾けようとしているのである」。（エゼ 3:7）しかし、イスラエル国民はあなたの言うことに耳を傾けない。私の言うことに耳を傾けようとしているのである。イスラエル国民は皆、頭が固く、心も固い）イスラエル人はエゼキエルを退けることによって、実際にはエホバを退けていました。エゼキエルは、エホバの言葉を聞いて、人々から退けられるとても預言者としての務めをきちんと果たせなかつたわけではない、ということを理解できました。また、エホバはエゼキエルに別の点も伝えました。エゼキエルが伝えた裁きがまさにその通りになる時、イスラエル人は「自分たちの中に預言者がいたことを知ることになる」のです。（エゼ 2:5 彼らは、聞くとしても、反逆的な民であるために聞かないとしても、自分たちの中に預言者がいたことを知ることになる；33:33 その言葉は必ず実現する。それが実現する時、彼らは自分たちの中に預

言者がいたことを知らなければならなくなる) エゼキエルはこうした言葉を聞いて慰められ、自分の務めをやり遂げるよう力づけられたに違いありません。

## 私たちもエホバから遣わされている



エゼキエルのように、私たちも無関心な人や反対する人に会うことがある。それでもエホバは共にいてくださる。(5-6節参照)

### 5. イザヤ 44 章 8 節のどんな言葉から力を得られますか。

5 私たちも、自分たちがエホバから遣わされているということを理解するなら、力を得ることができます。エホバは、私たちのことをご自分の「証人」と呼んでくださっています。(イザ 43:10)  
エホバはこう宣言する。「あなたたちは私の証人である。私に仕える者であり、私が選んだのである。あなたたちが私を知り、私に信仰を持ち(\*私を信頼し)、私が変わらないことを理解するために。私の前に存在するようになつた(d\*形作られた)神はおらず、私の後にもいない) 本当に名誉なことではないでしょうか。エホバは、エゼキエルに対して「恐れてはいけない」と言ったように、私たちに対しても「あなたたちは恐れなくてはならない」と言ってくださっています。そうであれば、反対者を恐れる必要など少しもありません。私たちもエゼキエルと同じように、エホバから遣わされていて、必ず助けていただくことができます。(イザヤ 44:8) あなたたちは恐れてはならない。恐怖で身がすくむないようにしなさい。私は前もって一人一人にはっきり告げたではないか。あなたたちは私の証人である。私のほかに神がいるだろうか。いや、ほかに岩のような者はいない。私は全く知らない』を読む。)

### 6. (ア) エホバはどんなことを保証してくださっていますか。 (イ) どんなことを知ると、慰められ、力づけられますか。

6 (ア) エホバは私たちのことを助けると保証してくださっています。「あなたたちは私の証人である」という言葉の少し前で、こう言いました。「あなたが水の中を通るとき、私はあなたと共にいる。川を渡るとき、あなたが水にのまれることはない。火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎に焦がされることもない」。(←イザ 43:2) 私たちは伝道を行っている時、洪水のように思える問題や火のように思える試練にぶつかることがあります。それでも、エホバは私たちが伝道を続けられるように助けてくださいます。(イザ 41:13) あなたの神である私エホバは、あなたの右手

をしつかりつかみ、『恐れてはいけない。私があなたを助ける』と言う）（イ）エゼキエルの時代と同じように、現代でもほとんどの人は私たちのメッセージを聞こうとしません。それでも、次の点を覚えておきましょう。人々から避けられるとしても、私たちが神の証人としての務めをきちんと果たせていないというわけではありません。忠実に伝道を続けるなら、エホバは喜んでくださいます。そのことを知ると、慰められ、力づけられるのではないかでしょうか。パウロが言っている通り、「それぞれがその働きに応じて報われます」。（ヨハネ 3:8 植える者と水を注ぐ者は一つです(\*1つの目的を持っています)が、それぞれがその働きに応じて報われます；4:1, 2 私たちは人から、キリストの従者、神の神聖な秘密を託された管理人と見なされるようであるべきです。2 この点で、管理人に期待されているのは忠実であること）長年開拓奉仕をしてきた1人の姉妹もこう言っています。「エホバが努力に報いてくださるのは本当にうれしいことです」。

## エゼキエルは聖なる力によって強められた



エゼキエルは、エホバの天の兵車の幻を見た。それによって、伝道の務めをやり遂げられるようエホバが助けてくださる、という確信が強まった。（7節を参照。）

7. エゼキエルは自分が見た幻について考えるたびにどんな気持ちになりましたか。（表紙の絵を参照。）

7 エゼキエルは、聖なる力がどれほど強いものであるかを見ました。幻の中で、強力な天使たちや天の兵車の巨大な車輪に聖なる力が働く様子を目撃しました。（エゼ 1:20, 21 生き物は聖なる力に導かれるまま、その力が行く所へどこにでも行った。車輪も一緒に浮き上るのは、生き物に働いている聖なる力が車輪の中にもあったからである。21 生き物が進むと、車輪も進み、生き物が止まると、車輪も止まった。生き物が地上から浮き上ると、車輪も一緒に浮き上がった。生き物に働いている聖なる力が車輪の中にもあったからである）エゼキエルはどう反応したでしょうか。その時のことについて、こう書いています。「それを見た時、私はひれ伏した」。エゼキエルは、畏敬の気持ちに満たされて地面にひれ伏したのです。（エゼ 1:28 雨の日に雲に懸かる虹のようだった。周りの輝かしい光はそのように見え、エホバの栄光のようだった。それを見た時、私はひれ伏した。すると、誰かが話す声が聞こえてきた）エゼキエルはこの印象的な幻について考えるたびに、神の聖なる力の助けがあれば自分の務めをやり遂げることができる、という確信を深めたことでしょう。

8-9. (ア) エゼキエルはエホバの言葉を聞いて、どうすることができましたか。 (イ) エホバはエゼキエルが難しい区域で伝道で  
きるよう、さらにどのように助けましたか。

8 エホバはエゼキエルに対して、「人の子(エゼキエル書の中で93回出てくる「人の子」という表現の最初の例)立ち上がりなさい。あなたに話すことがある」と言いました。この言葉を聞いたエゼキエルは、聖なる力の助けて、起き上がるることができました。こう書いています。「聖なる力が私に入り、私を立ち上がらせた」。(←エゼ 2:1, 2) その後、伝道を行っている間ずっとエゼキエルはエホバの聖なる力に助けられました。(エゼ 3:22) エホバの力(d\*手)がその場所で私に働き、その方は言った。

「立って、谷あいの平原に行きなさい。私はそこであなたと話す」; 8:1 第6年、第6の月の5日、私は自分の家で座っており、ユダの長老たちが私の前に座っていた。すると、主権者である主エホバの力が私に働いた; 33:22 その逃げてきた人が来る前の夕方、エホバの力(d\*手)が私に働き、その人が朝に私の所に来る前に、神は私の口を開いた。それで私は口が利けるようになった; 37:1 エホバの力が私に働き、エホバはご自分の聖なる力によって私を運び、谷あいの平原の真ん中に置いた。そこは骨でいっぱいだった; 40:1 私たちが捕囚にされて25年目の初め、第1の月の10日、都市(エルサレムのこと)が陥落してから14年目のその日に、エホバの力が私に働き、私は都市に連れていかれた) そのおかげで自分の務めをやり遂げることができました。それは、「頭が固く、心も固い」人たちに伝道するという務めです。(エゼ 3:7) しかし、イスラエル国民はあなたの言うことに耳を傾けない。私の言うことに耳を傾けようとしないのである。イスラエル国民は皆、頭が固く、心も固い) エホバはエゼキエルにこう言いました。「私は、あなたの顔を彼らの顔と同じように固くし、あなたの額を彼らの額と同じように固くした。あなたの額を火打ち石よりも硬いダイヤモンドのようにした。彼らを恐れたり、彼らの顔を見ておびえたりしてはいけない」。(←エゼ 3:8, 9) エホバはいわばこう言っていたのです。「人々が頑固だからといって、がっかりしてはいけない。私があなたを強くする」。

9 エゼキエルはエホバの聖なる力によって、自分が伝道を行う区域へと運ばれました。「エホバの力が私に強く働いていた」と書いています。エゼキエルが伝えるべきメッセージを理解して、それを確信を込めて語れるようになるまでに、1週間かかりました。(エゼ 3:14, 15) 私は悲痛な思いと激しい怒りを抱きながら、聖なる力(if\*天使)に運ばれていった。エホバの力(d\*手)が私に強く働いていた。15 こうして私は、ケバル川のほとりのテル・アビブに住んでいた捕囚の民の所に行き、そこにとどまった。7日の間、放心状態でその民の中にいた) その後、エホバによって谷あいの平原へと連れていかれ、そこで「聖なる力が[エゼキエル]に入りました」(エゼ 3:23, 24) 私は立って、谷あいの平原に行った。見ると、エホバの栄光が輝いていた。ケバル川のほとりで見た栄光のようだった。それで私はひれ伏した。24 すると、聖なる力が私に入り、私を立ち上がらせた。神はこう言った。「あなたの家に入って閉じこもりなさい。」) こうしてエゼキエルは、伝道を始める準備が整いました。

私たちも聖なる力によって強められている



エゼキエルの場合のように、私たちが伝道をやり遂げる上で、どんなことが助けとなるか。（10節を参照。）

10. 私たちが伝道をやり遂げる上で、どんな助けが必要ですか。なぜですか。

10 私たちが伝道をやり遂げる上で、どんな助けが必要でしょうか。この点に関しても、エゼキエルの例を考えてみましょう。エゼキエルは伝道を始める前に、聖なる力によって強められました。現代の私たちも、伝道を行うためには聖なる力の助けが必要です。サタンが私たちに敵対して、伝道をやめさせようとしているからです。（啓 12:17 それで竜は女に対して激怒し、彼女の子孫(d\*種)のうちの残っている人たち、すなわち、神のおきてを守り、イエスについて証言する務めを与えられている人たちと戦うために去っていった）人間の観点からすれば、サタンに勝つことなどできないと思うかもしれません。でも、私たちは伝道を行うことによって、サタンに勝利を収めています。（啓 12:9-11 こうして、大きな竜は投げ落とされた。あの初めの蛇で、悪魔サタンと呼ばれ、全世界を惑わしている者である。彼は地に投げ落とされ、邪悪な天使たちも共に投げ落とされた。10 私は大きな声が天でこう言うのを聞いた。「今や、私たちの神の救いと力と王国、またその方のキリストの権威が実現しました！私たちの兄弟たちを神の前で昼も夜も訴える者が投げ落とされたからです。11 兄弟たちは、子羊の血によって、また自分たちが語る言葉によってその者を征服し、死に面しても自分の命を惜しみ(d\*愛しませんでした) どうしてそう言えるでしょうか。サタンを恐れてはいられないことを示すことになるからです。それで私たちは、伝道を行うたびに、サタンに一撃を加えていることになるのです。反対に遭っても伝道を続けられていることは、私たちが聖なる力によって強められ、エホバに良いと認められていることの証拠なのです。（マタ 5:10-12 正しいことをして迫害されてきた人たちは幸福です。天の王国はその人たちのものだからです。11 私のために非難(\*侮辱)され、迫害され、悪意のあるうそをいろいろ言われるとき、あなたたちは幸福です。12 喜び、歓喜しなさい。天での報いは大きいからです。以前の預言者たちも同じように迫害されました。ペテー 4:14 キリストの名のために非難(\*侮辱)されているなら、皆さんは幸せです。栄光ある聖なる力を神から受けていますからです）

11. 聖なる力はどのように私たちの助けとなりますか。どうすれば聖なる力を頂くことができますか。

11 エホバがエゼキエルの顔と額をいわば固くしたことから、ほかにもどんなことを学べるでしょうか。聖なる力の助けがあれば、伝道でどんな問題にぶつかるとしてもそれを乗り越えることができる、ということです。（コリニ 4:7-9 しかし、私たちはこの宝を土の器に入れて持っています。そのため、普通を超えた力が私たちから出るのではなく、神から来るということが明らかです。8 私たちは、あらゆる面で圧

迫されながらも、身動きが取れないわけではありません。困惑させられながらも、逃げ道が全くない(if\*絶望するしかない)わけではありません。9 迫害されながらも、見捨てられているわけではありません。倒されながらも、滅ぼされているわけではありません) では、どうすれば聖なる力を頂くことができるでしょうか。祈り続けることです。エホバが必ず聞いてくださると確信して祈るのです。イエスも弟子たちにこう教えました。「求め続けなさい。……探し続けなさい。……たたき続けなさい」。そうすれば、エホバは「ご自分に求めている人に聖なる力を与えてくださるのです」。(←ルカ 11:9, 13。使徒1:14 皆、思いを一つにしてひたすら祈り続けた。何人かの女性、イエスの母親マリア、イエスの弟たちも一緒だつた; 2:4 皆が聖なる力に満たされ、さまざまな言語で話し始めた。聖なる力が、話せるようにしたのである)

## エゼキエルは神の言葉によって信仰を強められた

12. エゼキエル 2章 9節から 3章 3節によると、①卷物はどこから来ましたか。②そこには何が書かれていましたか。

12 エゼキエルは聖なる力によって強められただけでなく、神の言葉によっても信仰を強められました。エゼキエルは、幻の中で卷物を持った手を見ました。(エゼキエル 2:9-3:3 見ると、私に向かって手が差し出され、その手には卷物があった。10 その卷物が私の前で広げられると、表にも裏にも文字が書かれていた。哀歌と悲しみと嘆きが記されていた。3 その方は私に言った。「人の子よ、目の前にある物を食べなさい。この卷物を食べ、行って、イスラエル国民に話しなさい」。2 私が口を開けると、その方は私に卷物を食べさせて、3 こう言った。「人の子よ、私が与えている卷物を食べ、腹を満たしなさい」。私が食べ始めると、それは口の中で蜜のように甘かった。を読む。) この卷物はどこからやって来たのでしょうか。そこには何が書かれていましたか。エゼキエルは、この卷物によってどのように信仰を強められたでしょうか。①この卷物は、神の王座から来ました。エゼキエルが以前に幻で見た4人の天使のうちの1人がこの卷物を持ってきたようです。(エゼ 1:8 四方の翼の下には人間の手があった。4つの生き物それぞれに顔と翼があったのである; 10:7 ケルブの1人が、ケルブたちの間にあった火に向かって手を伸ばし、火をいくらか取って、亜麻布の服を着た者の両手に置いた。その者は火を持って出ていった, 20 これは、私がケバル川で、イスラエルの神の下にいるのを見た生き物であり、私はそれがケルブであることを知った) ②そこには、裁きに関する神の言葉がたくさん書かれていました。それは、捕囚にされていた反逆的なイスラエル人にエゼキエルが伝えるべきものでした。(エゼ 2:7 彼らが聞いても聞かなくても、あなたは私の言葉を話さなければならぬ。彼らは反逆的な民なのである) そして、この卷物は、表にも裏にも文字が書かれていました。

13. ①エホバはエゼキエルにどんなことを命じましたか。②エゼキエルが卷物を甘く感じたのはなぜですか。

13 ①エホバはエゼキエルに対して、この卷物を食べ、「腹を満たしなさい」、と命じました。エゼキエルは、この命令に従って卷物を全て食べました。このことから何が分かりますか。エゼキエルは自分が伝えるメッセージを十分に理解する必要があった、ということです。それをぜひとも伝えたい、という気持ちになるほどに、確信する必要があります。②そして、驚くべきことに、エゼキエルはこの卷物を「蜜のように甘」く感じました。(エゼ 3:3 私が食べ始めると、それは口の中で蜜のように甘かった) どうしてでしょうか。エゼキエルにとって、エホバに代わってメッセージを伝えることは、本当に名誉あることだったからです。甘い物を食べた時のような幸せを感じたのです。(詩 19:8-11 エホバの命令は正しく、心に喜びが生まれる。エホバのおきては清く、目が開かれる) 9 エホバへの畏れは純粋で、永遠に続く。エホバの裁きは真実で、全く正しい。10 金よりも、多くの純金(\*精錬

された金)よりも好ましい。蜜よりも、巣から滴り落ちる蜂蜜よりも甘い。11 こうして、あなたに仕える人は警告を受けた。従うなら大きな報いがある) エゼキエルは、エホバが預言者としての務めを自分に任せてくれたことをとてもうれしく感じていました。

14. エゼキエルが伝道を始める用意を整える上で、どんなことが助けになりましたか。

14 その後、エホバはエゼキエルに、「私があなたに話す言葉を全て聞き、心に留めなさい」と言いました。 (←エゼ 3:10) これはつまり、卷物の内容を覚えてじっくり考えるようにということです。そうすることによって、エゼキエルは信仰を強めることができました。また、人々にどんなことを話すべきかを理解することもできました。 (エゼ 3:11 行って、捕囚にされている同胞たちに話しなさい。彼らが聞いても聞かなくても、『主権者である主エホバはこう言っている』と言いなさい) エゼキエルは、エホバのメッセージをよく理解し、確信することができたので、伝道を始めてそれをやり遂げる用意が整いました。 (詩編 19:14 私の岩、私の救い主(d\*を買い戻す方)エホバ、私の口の言葉と心の默想を喜んでくださいますようにと比較。)

## 私たちも神の言葉によって信仰を強められている

15. 伝道を粘り強く行っていくためには、どんなことを「心に留め」る必要がありますか。

15 我々も、伝道を粘り強く行っていくためには、神の言葉によって信仰を強めていく必要があります。エホバの言葉を全て「心に留め」る必要があるのです。現代、エホバは聖書を通して私たちに語り掛けています。では、どうすれば考え方や感じ方や動機を聖書に沿ったものとすることができるでしょうか。

16. 聖書を理解し信仰を強めるためには、どんなことをする必要がありますか。

16 この卷物の幻を通して、どんなことを学べますか。食べ物を食べて消化すると力を得られるのと同じように、聖書を読んでじっくり考えるなら信仰を強めることができる、ということです。エホバは、私たちが聖書の言葉で「腹を満たすこと、つまり聖書をよく理解することを願っています。そのためには、祈って、聖書を読み、読んだ内容をじっくり考える必要があります。①まず祈って、エホバの考え方に自分を合わせることができるよう心を整えます。②次に、聖書を読みます。③そして、読んだ内容をじっくり考えます。こうしたことを行っていくなら、聖書をいつそうよく理解できるようになります。信仰も強まっていきます。

17. 聖書を読んでじっくり考えることが大切なのはなぜですか。

17 聖書を読んでじっくり考えることが大切なのはなぜでしょうか。そうすることによって、今王国についてのメッセージを伝えるための力や、将来厳しい裁きについてのメッセージを伝えるための力を得ることができます。また、エホバの素晴らしい性質についてじっくり考えながら、エホバとの絆をいっそう強めすることができます。そうすれば、甘くておいしい物を食べた時のような幸せな気持ちになるでしょう。穏やかな心や満足感を味わうことができるのです。 (詩 119:103 あなたの言葉は私の舌に何と甘いのだろう。私の口に蜜よりも甘い。)

## 終わりまで粘り強く行う

18. 人々は①どんなことを認めなければならなくなりますか。②なぜですか。

18 エゼキエルは預言者でしたが、私たちはそうではありません。とはいえ、エホバが聖なる力を用いて書かせた聖書のメッセージを伝えていく決意をしています。②伝道が十分に行われたとエホバがご覧になる時までそうします。裁きが行われる時、「自分は警告を受けなかった」とか、「神は私のことを見ていなかった」などと言える人は、一人もいません。（エゼ 3:19一方、あなたが悪い人に警告したのに、その人が悪い行いや生き方をやめないなら、その人は自分の過ちのために死ぬが、あなたは自分の命を救うことになる；18:23主権者である主エホバはこう宣言する。『私は、悪い人の死を少しでも喜ぶだろうか。かえって、その人が悪い行いをやめて生き続けることを喜ぶのではないか。』）それどころか、①私たちが伝えていたメッセージが神からのものであることを認めなければならなくなります。

19. 私たちが伝道をやり遂げる上で、どんなことが力となりますか。

19 私たちが伝道をやり遂げる上で、どんなことが力となるでしょうか。エゼキエルにとって力になったのと同じ、3つの点です。私たちは、①エホバから遣わされていて、②聖なる力によって強められ、③聖書によって信仰を強められているので、伝道を行い続けることができます。では、これからもエホバに助けていただきつつ、「終わりまで」粘り強く伝道を行っていきましょう。（マタ 24:13しかし、終わりまで耐え忍んだ人が救われます。）

次の点を覚えておくことが大切なのはなぜですか

### 1. エホバから遣わされていること

- ・S05 エホバから遣わされていて、必ず助けていただくことができる
- ・S06 忠実に伝道を続けるなら、エホバは喜んでくださること知り、慰められ、力づけられる

### 2. 聖なる力によって強められていること

- ・S08 伝道を行っている間反対や問題があってもエゼキエルのように強力な聖なる力に助けられる
- ・S09 伝道を始める準備が整う
- ・S10 聖なる力の助けにより伝道を行うなら、サタンに勝利を収めていること示す。反対に遭っても伝道を続けられていることは、私たちが聖なる力によって強められ、エホバに良いと認められていることの証拠
- ・S11 エゼキエルの顔と額をいわば固くしたように、聖なる力の助けがあれば、伝道でどんな問題にぶつかってそれを乗り越えられる。そのため祈りにより聖なる力を求め続ける

### 3. 神の言葉によって信仰を強められていること

- ・S13 自分が伝えるメッセージを十分に理解し、それをぜひとも伝えたいという気持ちになるほどに確信する必要がある。エホバに代わってメッセージを伝えることは本当に名誉あることで幸せ(甘)感じる
- ・S16 聖書を読んでじっくり考えるなら信仰を強めることができる。それで、①まず祈って、エホバの考え方自分を合わせることができるように心を整え、②次に聖書を読み、③そして、読んだ内容をじっくり考える

[65 番の歌](#) 進歩し続けよう